

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人やまなみ会

法人本部

目 次

1	はじめに	…… 1
2	役員会等の開催状況	…… 1～4
3	職員の採用退職状況	…… 4～5
4	職員研修の実施状況	…… 5
5	次年度への提起	…… 6

1 はじめに

コロナ期の影響が未だに尾を引くなか、光熱費、食材費、人件費等の高騰、慢性的な人材不足に喘いでいる福祉分野において、いわゆる「2025年問題」：超高齢化社会に直面していくこととなります。国も介護報酬の見直し等の施策を行っているものの社会の変化に遅れをとっている感が否めない状況です。そのような厳しい現状下においても、地域社会における質の高い福祉サービスの提供を日々維持するため、これまで以上の事業内容、職場実態の検証、見直しが求められているところです。

特に人材確保と育成は喫緊の課題であり、令和5年度もハローワークや人材紹介会社、特定技能外国人の雇用等で人材を補ってまいりましたが、今後、TSMC等の影響で、一層厳しい採用状況が予想されるところです。法人経営に関しては、確実に業績を残している施設もありますが、相対的に厳しい数字となっており、将来を見据えた組織基盤、経済基盤の強化を図ってまいります。

2 役員会等の開催状況

令和5年度の理事会、評議会については、下記のとおり開催しています。

(1) 理事会

第1回理事会 令和5年6月13日

参加者 理事6人 監事2人 事務局8人

1 提案事項

- ① 令和4年度事業報告について
- ② 令和4年度計算書類、付属明細書及び財産目録について
- ③ 監事監査報告について
- ④ 次期役員について
- ⑤ 施設長等の選任について
- ⑥ 居宅介護支援事業所の見直しについて
- ⑦ 定時評議員会の開催について

2 報告事項

- ① 業務執行状況報告について

第2回理事会 令和5年10月3日

参加者 理事6人 監事2人 事務局9人

1 提案事項

- ① 理事長の選任について
- ② 常務理事の選任について

第3回理事会 令和5年9月3日

参加者 理事6人 監事2人 事務局7人

1 提案事項

- ① 非常用自家発電整備事業について
- ② 令和5年度第1次補正予算（案）の承認について
- ③ 短期入所生活介護あその杜開設に伴う運営規程の策定について
- ④ グループホームくんわの運営規程改正について

2 報告事項

- ① 短期入所生活介護あその杜開設について
- ② 理事長及び常務理事の業務執行状況について

第4回理事会 令和6年3月16日

参加者 理事6人 監事2人 事務局8人

1 提案事項

- ① 阿蘇くんわの里 屋上及び外壁の大規模改修工事について
- ② 引当金の取崩しについて
- ③ 令和5年度2次補正予算（案）の承認について
- ④ 令和6年度事業計画（案）について
- ⑤ 令和6年度当初予算（案）について
- ⑥ 諸規程等改正について
- ⑦ 施設長等選任について
- ⑧ 定時評議員会の招集について

2 報告事項について

- ① 業務執行状況について

(2) 評議員会

第1回定時評議員会 令和5年6月28日

参加者 評議員6人 理事2人 監事2人 事務局9人

1 提案事項

- ① 令和4年度計算書類、付属明細書、財産目録について
- ② 監事監査報告について
- ③ 新理事、監事の選任について

2 議決事項

- ① 令和4年度事業報告について
- ② 施設長等の選任について
- ③ 業務執行状況について

第2回定時評議員会 令和6年3月30日

参加者 評議員 7人 理事 2人 監事 2人 事務局 8人

1 提案事項

- ① 令和5年度2次補正予算（案）について
- ② 令和6年度事業計画（案）について
- ③ 令和6年度当初予算（案）について

2 報告事項

- ① 諸規程等改正について
- ② 施設長等選任について
- ③ 阿蘇くんわの里屋上及び外壁の大規模改修工事及び積立金取崩しについて
- ④ 業務執行状況について

(2) 施設長会議

	開催日	主な決議事項
1	令和5年4月25日	① 人事案件（くんわ技研施設長後任人事）について ② 法人車両の新規リース契約について ③ 災害対応非常用発電機の整備について ④ 飲酒運転対策～出勤時のアルコールチェック ⑤ HPの作成について ⑥ 施設報告
2	令和5年5月26日	① 行事予定（理事会、評議員会日程）について ② 人事案件（後任人事、定期異動）について ③ 公用車事故の発生と再発防止の徹底について ④ 居宅介護事業の見直しについて（ほっと館） ⑤ 安全運転管理者の設置について ⑥ 施設報告
3	令和5年6月9日	① 人事案件（異動案、日程）について ② 施設報告
4	令和5年6月16日	① 人事案件（異動案）について ※ 終了後、昇格審査委員会の開催
5	令和5年7月5日	① 適正な業務管理について 就業規則の遵守 風通しの良い職場作り、指示命令の徹底 ② 施設報告
	令和5年8月29日	① 行事予定（第3回理事会日程） ② 適正な労務管理と労働災害の未然防止について

6		<p>ライフワークバランスの徹底</p> <p>③ HPの修正</p> <p>④ 施設報告</p>
7	令和5年9月28日	<p>① 危機管理のあり方について</p> <p>② インボイス制度について</p> <p>③ 施設報告（施設の課題と対策）</p>
8	令和5年10月25日	<p>① 労災事故の発生について</p> <p>② 職員給与の見直し案について</p> <p>③ 施設報告</p>
9	令和5年11月24日	<p>① 適正な業務執行について</p> <p>② 風通しの良い職場作り（セクハラ、パワハラ防止）について</p> <p>③ 新規HP作成について</p> <p>④ 冬期ボーナス査定について</p> <p>⑤ やまなみ通信の作成</p> <p>⑥ 施設報告</p>
10	令和6年1月25日	<p>① 昨年の反省と今年目標について</p> <p>② 危機意識の保持</p> <p>④ BCPの策定について</p>
11	令和6年2月28日	<p>① 業務検討（理事会内容）について</p> <p>② 給与見直しについて</p> <p>③ 事故発生報告と再発防止対策（なでしこの里）</p> <p>④ 施設報告</p>
12	令和6年3月21日	<p>① 交通事故の防止について</p> <p>② 人事案件について</p> <p>③ 理事会検討について</p>

3 職員の採用退職状況（R5. 4. 1～R6. 3. 31）

施設名	採用者				退職者			
	正職	嘱託	非常勤	特定活動	正職	嘱託	非常勤	特定活動
阿蘇くんわの里	5		2		2		3	
くんわ技研	1				2			
支援センター	2		2		3		4	
GHくんわ			2				1	
なでしこの里		1		1	2		1	1
インターワーク	1	1			2	1		
GH草原の風			1				1	
ほっと館		1	1		1	1	1	
ゆほびか	2		1					
元気っ子クラブ			2				1	
あその杜	3	1	2		2		4	
小計	14	3	13	1	14	2	16	1
合計	31				33			

※ 特徴

- ・ 採用者、退職者数は例年と変わらず約30人。
- ・ 入職後、1年内の退職者が約25%。

※ 全職員数（R6. 4. 1） 合計208人（派遣4人を除く。）

正職107人、嘱託27人、非常勤66人、特定活動8人

4 職員研修の実施状況

資格取得状況（R5. 4. 1～R6. 3. 31）

資格	数	資格	数
介護福祉士	4 (3)	サビ管基礎研修	1 (1)
強度行動障害支援者研修	2 (2)	サビ管実践研修	1 (0)
社会福祉主事	4 (1)	サビ管更新研修	1 (0)

※ ()内の数字は、昨年度の取得者数。

5 緊急時における業務継続化対策

大地震、大雨等の自然災害、新型コロナウイルス感染症まん延時の緊急事態時における事業継続可能な体制構築を図っています。

- BCP（事業継続計画）、PCP（感染時の継続計画）の策定
- 大規模災害、感染時等緊急時における各種マニュアルの作成、見直し、訓練の実施
- 非常用発電機の設置（あその杜、なでしこの里）

6 次年度への提起

(1) 経営基盤の強化

コロナ禍の影響や電気料金値上げ、物価の高騰、慢性的な人材不足に起因する人件費の見直し等は法人の事業経営に大きな影響を及ぼしています。理事会、評議員会等での積極的な情報共有、会計事務所・社労士事務所等の顧問先との連携を密に図り業務方針の策定を図ってまいります。

(2) 優秀な人材確保と育成

労働人口の減少、職域間給与格差等による人材不足は深刻で喫緊の課題であり、現在、不足人員を特定技能外国人の雇用で補っているのが実態です。また職員の高齢化も進み、それに伴う転倒事故等各種事案や事故の発生も見られます。

人材確保方策として、より積極的な採用募集活動と職員の定着化確保に取り組みます。具体的には、現在取り組んでいるハローワーク、求人サイトの活用、高校・大学・専門学校訪問等を推進します。

定着化対策としては、給与規程、就業規則等の見直し、メンタルヘルス対策等各種ハラスメント防止対策の徹底による職場環境の改善を行っていきます。将来、各施設を担う人材を育てる方策として、専門的な知識と技能を身に付けさせるために各種研修会への参加や資格取得に向けた支援の充実、適性・能力・経歴等を踏まえた適正な人事評価を行い、職員が「やりがい」を感じ、職場・職業に誇りと使命感を持てるような人材育成に取り組みます。

(3) 危機意識の向上

昨年度は、高齢者施設入所者失踪による死亡事故、作業中による職員の転落事故、公用車運転中の交通事故等が発生しました。この手の事案は、いつ、どの施設でも発生するおそれがあります。また、大規模災害やコロナ等の感染症まん延等も同様です。

各施設、職員個々が、普段から常に危機意識を持ち、平素から業務の見直し、点検、を行う中で、各種マニュアルの作成と周知、マニュアル実行の徹底を図ってまいります。